



特定非営利活動法人

医学統計研究会の現況

平成 18 年度 会報

Vol.2

特定非営利活動法人 医学統計研究会も 2007 年 4 月 1 日から、平成 19 年度の活動を開始いたしております。恒例により、平成 18 年度の活動実績を以下に総括してご報告いたします。

(1)平成 18 年度の活動と事業の特徴は次のように要約できます。

- ① 2004 年の創設時から継続している定例シンポジウム「医療で必要とされる統計的基礎知識」を通して、医療データの取り扱いにおける統計的基礎知識の普及・啓発に大きく貢献した。実際に、2004 年度以降、3 回目までの参加者は 400 名にのぼる。
- ②最近のデータ・マネジメントの業務の質の向上と量的な拡大の必要性に応じて、その過程の責任感を訴求したセミナーを昨年度に引き続き、開催し、好評を得た。
- ③医療および医薬品の臨床評価過程において、「疾患 対 治療」から「患者 対 治療」への変換を志向した「患者像の抽出から迫る臨床評価」シンポジウムを開催し、その方法論を提示し、それに伴う問題点を明らかにした。
- ④薬物動態における統計的接近法の役割と方法論を明らかにするシンポジウムを開催し、統計家や臨床薬理分野の研究者に、その必要性と問題点を提示し、好評を得た。
- ⑤e-learning 型医学統計学習システム (PSL: Productive Self-Learning System of Biostatistics) 『医学統計学習塾』(第 1 部)を共同開発し、完成させた。

平成 18 年度の事業は下記のとおりです[敬称略]。

- スプリング・フォーラム 2006 : 2006.4.1. (大阪).
平成 18 年度理事会. 平成 18 年度通常総会. 懇親会 : 参加者 45 名.
- サマー・フォーラム 2006 : 2006.7.29. (大阪).
スポーツ・懇談会 : 参加者 29 名.
- ウィンター・フォーラム 2006 : 2006.12.2. (大阪).
研究発表会. 懇親会. 参加者 57 名

- 特定主題セミナー 2006 「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」 : 2006. 4. 18/
2006.5.18/2006.6.1/2006.6.15. (東京).
組織者 : 前田 博・後藤昌司.
講師 : 前田 博・藤本峰子・友次直輝.
参加者 : 23 名(会員 9 名, 非会員 14 名).

- 特定主題シンポジウム 2006 「製造販売後における臨床評価」 : 2006.6.8. (東京)
組織者 : 松原義弘・後藤昌司. 開会挨拶 : 向井満利. 閉会挨拶 : 後藤昌司.

講師：松原義弘・鈴木英明・松下泰之・柴田義貞。

参加者：103名(有料参加者 33名，支援参加者 70名)。

- 特定主題シンポジウム 2006「患者像の抽出から迫る臨床評価」：2006.8.26. (大阪)
組織者：柴田義貞・後藤昌司. 開会挨拶：柴田義貞. 閉会挨拶：後藤昌司.
講師：杉本知之・下川敏雄・佐藤俊之・松原義弘.
参加者：39名(有料参加者 29名，支援参加者 10名)。
- 特定主題シンポジウム「薬物動態における統計数理」：2006.10.28. (東京)
組織者：魚井 徹・後藤昌司. 開会挨拶：真野 章. 閉会挨拶：魚井 徹.
講師：今井康彦・大門貴志・笠井英史・熊谷雄冶.
参加者：59名(有料参加者 38名，支援参加者 21名)。
- 定例シンポジウム 2006「医療で必要とされる統計的基礎知識」：2006.11.11. (東京)
組織者：白旗慎吾・後藤昌司. 開会挨拶：野村 寿. 閉会挨拶：白旗慎吾.
講師：坂本 亘・藤澤正樹・河合統介・後藤昌司.
参加者：47名(有料参加者 24名，支援参加者 23名)。
- 特定主題シンポジウム 2006「臨床評価における計算環境 R とその周辺：S-Plus による妥当性確認」 2007.3.17. (東京)
組織者：越智義道・後藤昌司. 開会挨拶：魚井 徹. 閉会挨拶：後藤昌司.
講師：山本義郎・坂本 亘・下川敏雄・越智義道.
参加者：29名(会員 16名，非会員 12名)。
- 定例会(大阪)4回：2006.6.3/2006.7.29/2007.2.3/2007.3.24.
- 定例研究会(東京)12回：2006.4.12/2006.5.11/2006.6.15/2006.7.13/2006.8.30/2006.9.27/
2006.10.18/2006.11.22/2006.12.22/2007.1.18/2007.2.22/2007.3.16.
- e-learning『医学統計学習塾』の共同開発・技術指導
(日時) 2006年4月1日. ～2007年3月31日
(場所) 大阪：豊中市上新田2丁目 22-10-A411 医学統計研究会オフィス.
大分：大分市大手町2丁目 3-34-105 (株)ソリューションラボ・オフィス.
(付記)「医学統計1年生」(第1部)の完成。

日常的な活動として、平成18年度も毎月、ニューズレター(Newsletter)を発行しました[2007年3月31日現在で通刊36号になります]。また、医学統計学や医療での問題を中心に、諸種の技術相談やコンサルティングを行いました。

さらに、2006年5月にホームページ <http://www.bra.or.jp> を開設し、ニューズレター、諸種のシンポジウム、セミナー、定例会(大阪)、定例研究会(東京)の迅速なハウレンソウ(報告・

連絡・相談)に活用しています。今後にかけて、「文明の利器」を活用して、本研究会の一層の飛躍をはかるつもりです。

(2)平成 18 年度の収支計算書の概要を下表に記しています。詳細は大阪府知事宛へ提出する資料(「閲覧」可)に記載しています。

・収入の部		合計	9,227,335	・支出の部		合計	6,265,382	単位(円)
内訳：	入会金・会費収入		3,560,000	内訳：	事業費		3,714,716	
	事業収入		2,317,220		管理費		2,550,666	
	賛助金収入		200,000		その他		0	
	利息収入		3,140		<u>当年度支出合計</u>		<u>6,265,382</u>	
	技術指導料		500,000					
	雑収入		1,760					
	<u>当年度収入合計</u>		<u>6,582,120</u>		<u>・当年度収支差額</u>		<u>316,738</u>	
	<u>前年度繰越金額(設立時資金有高)</u>		<u>2,645,215</u>		<u>・次年度繰越収支差額</u>		<u>2,961,953</u>	

(3)平成 19 年度の事業も以下のように計画し、進行中です[敬称略]。

- 平成 19 年度第 1 回理事会：2007.4.6(土).
第 2 回理事会：2007.7.28(土).
- 平成 19 年度第 1 回通常総会：2007.5.26(土).
第 2 回通常総会：2007.12.1(土).
- スプリング・フォーラム 2007：2007.4.7(土). 大阪大学 豊中キャンパス
- サマー・フォーラム 2007：2007.7.28(土). 大阪大学 豊中キャンパス
- ウィンター・フォーラム 2007：2007.12.1(土). 大阪大学 豊中キャンパス Σホール
- 定例研究会[東京]
 - ①2007.4.9(月)[ちよだプラットフォーム会議室].
 - ②2007.5.17(木)[ちよだプラットフォーム会議室].
 - ③2007.6.21(木)[ちよだプラットフォーム会議室].
幹事：河合統介・藤澤正樹.
- 定例会[大阪]
 - ①2007.5.26(土)[大阪大学 豊中キャンパス].
 - ②2007.6.30(土)[FS マンション・会議室].
 - ③2007.11.17(土)[大阪大学 吹田キャンパス].
幹事：坂本 亘・富金原 悟・下川敏雄.
- 特定主題セミナー2007「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」：
 - 第 1 回：2007.4.19[ちよだプラットフォーム会議室].
 - 第 2 回：2007.5.22[ちよだプラットフォーム会議室].
 - 第 3 回：2007.6.7[東京薬業会館].
 - 第 4 回：2007.6.21[ちよだプラットフォーム会議室].

組織者：前田 博・後藤昌司.

- 特定主題セミナー2007「癌治療の評価における生存時間解析の方法」：
2007.9.15[午後]. 大阪. 組織者：松原義弘・後藤昌司.
- 特定主題シンポジウム 2007「臨床評価における適応型計画の適用可能性とその留意点」：
2007.6.23(土)：ファイザー(株)会議室. 組織者：栗林和彦・後藤昌司.
- 特定主題シンポジウム 2007「患者像に基づく臨床評価の過程」：
2007.11.10(土)[予定]. 東京[予定]. 組織者：柴田義貞・後藤昌司.
- 定例シンポジウム 2007「医療で必要とされる統計的基礎知識」
2007.10.27(土)[予定]. 大阪[予定]. 組織者：白旗慎吾・後藤昌司.
- 特定主題シンポジウム 2007「薬物動態の統計数理」：
2008.2.2(土). 大阪. 組織者：魚井 徹・後藤昌司.
- 地域シーズン・セミナー
夏季医学統計セミナー2007：2007.7.13(金)-14(土). 勝沼葡萄郷(山梨県)
世話人：下川敏雄・藤澤正樹.
秋季医学統計セミナー2007：2007.9.22(土)-23(日). 鹿児島高専(鹿児島県)
世話人：藤崎恒晏・古賀 正.
- 日本計算機統計学会スタディ・グループ「実験研究における制約と調整」(代表 栗林和彦)
①「適応型計画と制約つき推測」シンポジウム(共催)：2007.4.6(土). 大阪大学(豊中キャンパス) 待兼山会館.
②「適応型計画とそのもとでの推測」シンポジウム(共催)：2007.7.28(土), 大阪大学(豊中キャンパス)待兼山会館.
- 大分統計談話会(連携活動)
①第36回大会：2007.10.17(水)-19(金). 富士通大分システムラボラトリ.
②第37回大会：2008.2.7(木)-8(金). 富士通大分システムラボラトリ.
- 「医学統計学習塾」の開発：通信添削講座：
開講：2007.4.9. スクーリング[予定]：2007.8.4(土)[予定]

編集・発行：非営利活動法人 医学統計研究会

〒560-0085 大阪府豊中市上新田 2-22-10-A411

Tel&Fax:06-6835-8790, e-mail:info@bra.or.jp

URL:http://www.bra.or.jp/